

地域の通信

わ

区政推進課 地域力推進担当 411-7026

新子安地区フラワープロジェクト

主催：新子安地区社会福祉協議会

共催：新子安地区連合自治町内会

神奈川県社会福祉協議会

協力：新子安地域ケアプラザ



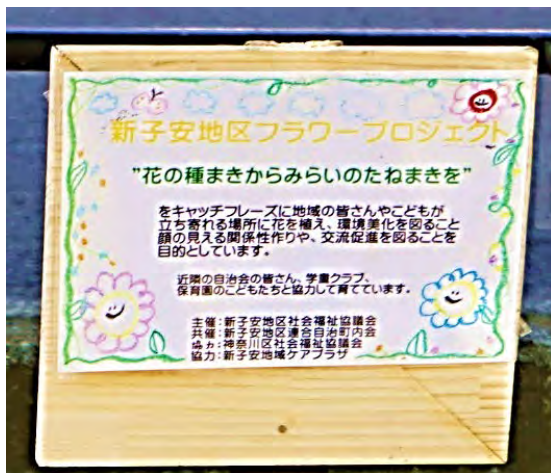
初夏の日差しがまぶしい5月23・24日に、新子安地区にある公園などの4か所で、第1回「新子安地区フラワープロジェクト」が実施された。「花の種まきから、みらいの種まきを」をキャッチフレーズに、地域の方と子どもが協力し花壇に花を植えるもの。一緒に花を植えることを通しての顔の見える関係づくりや世代交流の促進を目的に開催された。

きっかけは「こどもみらい会議」



ここ数年、新子安地区には新しいマンションが多く建ち、若い子育て世帯が移り住むようになった。多くは共働きで、子どもを預ける保育園も同じように増え続け、お互いを知らないことで不安や些細な誤解が生まれやすくなるのではないかと、古くから住む自治会町内会の関係者たちは心配をしていた。そんな思いをめぐい、若い世代と交流する機会を作り、子どもが安心して過ごせるまちづくりを目指して、「こどもみらい会議」が平成30年3月にスタートした。

この会議は、地域で過ごす子どもの現状を知り、地域のネットワークをつくる場として、平成31年2月までに3回実施され、地区社協、民生委員、主任児童委員をはじめ、地区内の保育園、学童クラブ、かなーちえ、放課後キッズ、小・中・高校、区社協、ケアプラザ、区役所が参加した。話し合いのキーワードとして出た「居場所」「一緒に活動」をもとに、大人から子どもまで誰でも利用する公園を地域コミュニティの場として、地域交流事業「フラワープロジェクト」は立ち上がった。



フラワープロジェクトの花壇には、地域住民の手作り看板が設置されている

花でつながる地域交流がはじまった！



「これから公園を通るお散歩で、お花の水やりが楽しみです」と保育士さん



「子どもが自分で花を植えることで、公園の花に関心を持ってくれたら嬉しいです」と地域の方の声

【第1回新子安フラワープロジェクト】

- ① 新子安一丁目公園 5月24日 10:30～
- ② 子安台第二公園 5月23日 14:00～
- ③ 打越公園 5月24日 15:00～
- ④ 古川病院前 5月24日 11:00～

取組が行われた公園のひとつである新子安一丁目公園では「もっとやりたい!」「花がきれい!」「虫がいる!」と子どもたちのにぎやかな声が響いていた。近隣の保育園6か所100名ほどの園児が参加し、日頃から公園で活動している公園愛護会やシニアクラブの方などと一緒に、ぎこちない手つきで花の苗植えを体験した。園庭がない保育園も多く、土に触れ、地域住民とも交流できるこの取組は、保育園側にとってもありがたい取組になったようだ。

参加した地域の方は「こんなに子どもが喜んでくれて嬉しいです」「今日の活動が子どもを通してお父さんお母さんに伝わるといいですね」と汗だくの笑顔で話してくれた。

子どもを介してその保護者が地域に目を向け、新旧住民の顔の見える関係づくりを目指したこの取組は、まだ始まったばかりだが、園児たちが散歩の途中で花に水やりをしてくれているなど、地域の方々と一緒に植えた花を大事に育てていこうとする思いが、子どもたちにも芽生えはじめているようだ。ゆっくりこの活動が進んでいけば、その先には「地域のつながり」という大きな実が育つことだろう。